業務の概要

令和６年度　業務実績

◆専門医療

（１）感染症医療

・県からの依頼により、新興感染症等の医療提供体制の確保を目的とし、改正感染症法に基づく医療措置協定を締結

・A2病棟（急性期治療病棟）の一部個室化及び陰圧化を実施し、感染拡大時に対応可能な専用病床４床を整備

（２）精神科救急医療

・県内精神科救急の拠点として、24 時間 365 日体制で救急患者の受入れ体制を確保
【救急時間外対応件数：153 件】
【緊急措置及び措置入院件数：30 件】

・医療機関の診察時間外に対応している「精神障がい者在宅アセスメントセンター」への相談対応
【相談件数：759 件】

（３）外来機能の充実

・外来救急やウォークイン患者に対し、緊急性の評価を行い、適切な診療を実施
【救急患者数：169 人、うち入院件数 111 件　入院率：65.7%】

（４）先進的な専門医療の充実

・「治療抵抗性うつ病」の患者に対し、侵襲性の低い治療法となる rTMS（反復経頭蓋磁気刺激療法）を実施。患者の要望等に応えるため、３週間入院治療後の評価により、通院治療が可能な患者は外来へ移行
【実施件数：218 件】

・地域の総合病院から麻酔科専門医の派遣を受け、難治性、治療抵抗性の精神疾患患者に週２回、m-ECT（修正型電気けいれん療法）を実施
【実施件数：394 件】

・治療抵抗性統合失調症患者に対し、クロザピンの治療を実施。３月より精神科急性期医師配置加算１の算定を開始
【新規導入件数：９件】

（５）児童・思春期、青年期医療

・「子どものこころ総合医療センター」開設について基本設計を完了。機構本部・県関係課とともに、委託事業者から概要報告を受け、成果品を受領

・運営協議会において基本設計の内容を公表

・児童・思春期、青年期精神科医療の標準化に向け多職種によるクリニカルパスを作成

・児童精神科の外来・入院看護体制一体化に向け、業務内容について院内で協議

（６）依存症医療

・アルコール、薬物・ギャンブル等依存症各種プログラムを改編し、多職種でのプログラム

運営を実施
・インターネット・ゲーム依存症の入院・外来治療について、児童・思春期、青年期、成人を対象としたプログラムを実施
【実施人数：14 人（入院７人、外来７人）】
・インターネットやゲームに関する困りごとを抱える児童・生徒を対象として、夏休み期間を利用してサマーキャンプを実施
【実施人数： ４人】
・インターネット・ゲーム依存症を持つ患者の家族に対して、家族の負担軽減及び患者が相談機関や医療につながるための手段を学ぶことを目的とした家族学習会を実施
【参加家族：延べ 60 人（延べ 51 家族）】

（７）医療観察法による医療
・医療観察法ユニット（６床）において、社会復帰に向け入院対象者９人、通院対象者２人の治療を実施

（８）認知症の専門医療
・認知症疾患医療センターにおいて、認知症の専門相談対応
【専門相談（電話・面接）：1,909 件】
・医師、保健師、公認心理師など多職種による「もの忘れ外来」を継続
【もの忘れ外来件数：1,545 件（うち鑑別診断件数　107 件）】
・認知症地域包括ケア等を推進するため、「認知症疾患医療センター研修会」を開催
【参加人数：146 人】

◆災害医療の提供
・長野県 DPAT 研修会等、各種訓練及び研修会に延べ 26 人を派遣
・研修企画・訓練コントローラーとして延べ 11 人を派遣

◆地域連携の推進
（１）地域包括ケアシステムの推進
・B2病棟（総合治療病棟）において、患者の地域移行を促進するため、体制を整備。６月から「精神科地域包括ケア病棟入院料」の算定を開始
・訪問看護ステーション「こまほす」について、利用者の再入院防止及び新規利用者確保に向け、地域クリニックとの連携を強化するため、近隣医療機関への訪問を実施
【訪問件数：1,522 件】
・初回入院患者の退院後訪問（１か月間毎週）実施により３か月以内の再入院を抑制
【再入院率※：15.2%】
※全国自治体病院協議会の医療の質の評価公表では、令和６年度の全国平均は 22.7% であり、全国平均以下を維持
・精神障がい者の退院後の地域定着を見据えて、入院時から多職種チームで支援を行う「包括的支援マネジメント」の導入を全病棟へ拡大

（２）地域の保健・福祉関係機関等との連携の推進
・児童相談所、要保護児童対策地域協議会等と連携し、自殺企図児童や児童虐待、摂食障害

などの緊急入院に対応
【新規入院患者数（15 歳以下）：49 人（うち緊急・優先入院　17 人）】

◆医療従事者の養成と専門性の向上

（１）医療従事者の養成
・信州大学の医学生２人を受入れ
・初期研修医 13 人を受入れ
・子どものこころ専門医制度における専攻医を１人育成

（２）県内医療従事者の技術水準向上への貢献
・「子どものこころ診療センター公開講座」を開催【参加人数：130 人】
・「認知症疾患医療センター研修会」を開催【参加人数：146 人】（再掲）
・「長野県依存症研修会」を開催【参加人数：147 人】
・県内の医療従事者、一般住民向けにインターネット・ゲーム依存症をはじめとする出前講座を実施【実施回数：15 回】

◆医療の質の向上

（１）医療等サービスの一層の向上
・医療の質を維持・向上させるために、院内独自の内部監査員を委嘱。重点監査項目を決定し、内部監査を実施
・入院患者満足度調査を実施。セクションごとに調査結果の考察と今後の対応について検討し、患者満足度の向上・維持への取組みを推進

（２）信州大学等との連携
・連携大学院教育により勤務医１人の博士号取得に係る臨床研究を実施

◆業務運営の改善及び経営基盤の強化

（１）業務運営体制強化のための取組み
・サイバーインシデント発生時における組織的対応の基本方針及び職員の取るべき行動の基本原則を示すため、医療情報システム事業継続計画（BCP）を策定

（２）経営改善への取組み
・診療報酬改定において「精神科地域包括ケア病棟入院料」の算定を開始したほか、６つの新規加算を算定
【算定からの増収額：27,637 千円（除ベースアップ評価料　10,309 千円）】
・毎週のベッドコントロール会議の開催及び看護部主導のベッドコントロールを徹底
・業者との価格交渉により、計 6,092 千円（税込）の費用を削減
【修繕費：4,449 千円、診療材料・消耗品費：971 千円、委託料：672 千円】

（３）情報発信
・院外広報誌「ここ駒通信」を発行し、関係施設などへ送付、伊南４市町村へ隣組回覧
・地域住民への精神科医療の理解促進を目的に、上伊那地域の情報誌「月刊かみいな」へエッセイ記事を掲載

講演・研究発表等の状況

（1）学会

学会の名称	開催日	場　所	発表者	内　　容
第 8 回日本精神薬学会総会・学術集会	R6.9.21 ～ R6.9.22	東京都品川区	山本　和幸	アモキサピン中止における処方変更及び転帰に関する調査
長野県看護研究学会	R6.10.5	松本市	髙橋たか子	第 43 回長野県看護研究学会シンポジウム 「多様な社会でどう生きる」（シンポジスト）
第 43 回信州精神神経学会	R6.10.19	松本市	○田中康平 原田　　謙	思春期発症の初回エピソード精神病に対する抗精神病薬治療
長野県医療従事者シミュレーション教育指導者研究会	R6.10.19	須坂市	伊藤　一郎 酒井　史江	看護部新規入職職員に行ったシミュレーション研修の実践報告
第 34 回日本医療薬学会年会	R6.11.2 ～ R6.11.4	千葉県幕張市	五味　和彦	精神科看護師における統合失調症治療貼付剤の貼付行為が与える影響 ～精神科看護師はどのような効果を感じているか～
第 20 回県立病院等合同研究会	R6.12.7	安曇野市	鵜澤　正寛	令和 6 年能登半島地震における DPAT 活動の報告
第 20 回県立病院等合同研究会	R6.12.7	安曇野市	髙野　隆善	入院治療と ARP を経験したアルコール依存症回復者における回復を促した要因
日本精神科看護協会長野県支部看護研究・看護実践報告会	R6.12.21	当院	栗木美和子 島田　　基	G 病棟業務改善報告 汚物処理室 2 を使いやすくした取り組み
日本精神科看護協会長野県支部看護研究・看護実践報告会	R6.12.21	当院	大倉　直紀	令和 6 年能登半島地震においての長野県 DPAT 活動報告
全国児童青年精神科医療施設協議会第 54 回研修会	R7.2.7 ～ R7.2.8	東京都八王子市	○久保田茂樹 大澤　真歩 窪田　典子 宮﨑　　洋 原田　　謙	アタッチメント問題が背景にある症例で対応に苦慮したケースの振り返り

（2）講演会等

講演会の名称 依頼団体の名称	開催日	場　所	発表者	内　　容
＜出前講座＞				
アルコール依存症 飯田保健福祉事務所	R6.5.8	飯田市	宮脇真一郎 佐藤みずき	アルコール依存症の基本的理解、当事者家族や近隣住民から相談があった場合の対応、地域での支援、保健師に期待すること

講演会の名称 依頼団体の名称	開催日	場　所	発表者	内　　容
こころの健康出前講座 日本精神科看護協会	R6.5.9	松本市	丸田　照美	入学間もない高校１年生に向けて、SOS の出し方（悩んだ時の相談方法）について
ネット・ゲーム依存症 伊南子ども劇場	R6.5.12	駒ヶ根市	足立　順代	ネット・ゲーム依存症について
アルコール依存症 伊那市役所高遠町総合支所	R6.6.27	伊那市	足立　順代 安田　　航 佐藤みずき	アルコール等依存症について
キャリア開発支援プログラム 佐久大学	R6.6.28	佐久市	多々良恭子	自分を大切にしよう！自己肯定感、自尊感情を高めるために
ネット・ゲーム依存症 長野県教育委員会	R6.7.18	塩尻市	足立　順代	ネット・ゲーム依存症について
PFA（Psychological First Aid）心理的応急処置 消防団員等公務災害補償等共済基金	R6.10.6	長野市	北澤夕紀子	心理的応急処置とセルフケア
うつストレスケア 伊那市	R6.10.17	伊那市	前川　瑞恵	ゲートキーパー養成講座
ネット・ゲーム依存症 下伊那教育会	R6.10.19	豊丘村	椎名千佳子 大澤　真歩	ネット・ゲーム依存とは（本人・家族への支援）
ネット・ゲーム依存症 安曇野市立穂高東中学校	R6.12.25	Web	田中　晴子	ネット・ゲーム依存症について
アルコール依存症 ギャンブル依存症 薬物依存症 上伊那郡市保健師連絡協議会	R7.1.10	Web	佐藤みずき	当院の依存症支援について、CRAFT の紹介
ネット・ゲーム依存症 諏訪地区特別支援学級学校担当者会	R7.1.16	Web	足立　順代	ネット・ゲーム依存症について
うつストレスケア 特別養護老人ホームコンソール大芝	R7.1.17	南箕輪村	楠田　洋子	ゲートキーパー養成講座
SST 箕輪町　精神障がい者当事者の会	R7.1.22	箕輪町	多々良恭子 丸田　照美	SST について
アルコール依存症 伊那市	R7.2.18	伊那市	宮脇真一郎	アルコール依存症について
＜講演会＞				
令和６年度 DPAT 先遣隊隊員技能維持研修 DPAT 事務局	R6.5.18	東京都 港区	臼井　裕子	研修ファシリテーター

講演会の名称 依頼団体の名称	開催日	場　所	発表者	内　　容
ギャンブル等依存症問題啓発週間特別セミナー＆当事者の会 全国ギャンブル依存症家族の会長野	R6.5.19	長野市	佐藤みずき	医療と民間団体の連携について
続「認知症と生きる」 めだかの学校	R6.5.24	駒ヶ根市	三浦　典子	認知症について知識を深める
第 25 回東北児童青年精神医学会大会　特別講演 東北児童青年精神医学会	R6.6.30	山形県 山形市	原田　　謙	「キレる」はこころの SOS
障害の理解と関わり方 長野県介護福祉士会	R6.7.26	安曇野市	髙橋たか子 三浦　典子	施設における精神障がい者への関わり方・支援
令和 6 年度 DPAT 統括者・事務担当者研修 DPAT 事務局	R6.7.27 ～ R6.7.28	栃木県 宇都宮市	臼井　裕子	研修ファシリテーター
ひきこもり支援推進事業研修 飯島町	R6.8.10 ～ R6.8.11	飯島町	間普　見佳	WRAP（元気回復行動プラン） 研修ファシリテーター
全国自治体病院協議会 精神科特別部会 第 61 回総会・研修会 全国自治体病院協議会	R6.8.29	群馬県 高崎市	臼井　裕子	災害拠点精神科病院と DPAT ～ 事務職としてすべきこと～
ACEs とトラウマインフォームドアプローチ 国立成育医療研究センター	R6.9.6	Web	原田　　謙	素行症
精神障がい者地域生活支援研修会 伊那保健福祉事務所	R6.9.10	南箕輪村	宮澤　真紀	高齢精神障がい者の地域移行・地域定着支援について
令和 6 年度長野県立こころの医療センター 駒ヶ根公開講座	R6.11.10	当院	犬塚　　伸	依存症という病気を知っていますか？ ～アルコールからゲームまで～
令和 6 年度 DPAT 先遣隊研修 DPAT 事務局	R6.11.16 ～ R6.11.17	兵庫県 神戸市	臼井　裕子	研修ファシリテーター
長野県看護協会スペシャリスト研修 長野県看護協会	R6.11.30	松本市	黒川めぐみ	リソースナースの実践発表
みやざき子どものこころの多職種研修会 宮崎大学医学部	R6.12.20	宮崎県 宮崎市	原田　　謙	「キレる」はこころの SOS

講演会の名称 依頼団体の名称	開催日	場　所	発表者	内　　容
富山県 DPAT 研修 富山県厚生部	R6.12.21	富山県 富山市	臼井　裕子	EMIS 操作方法・情報管理等について 演習（活動拠点本部での活動について）
令和 6 年度看護研究発表会 日本精神科看護協会	R6.12.21	当院	黒川めぐみ 髙橋たか子 丸田　照美	事例検討会ファシリテーター
ギャンブル等依存症家族の会セミナー＆相談会 全国ギャンブル依存症家族の会長野	R6.12.22	長野市	犬塚　　伸	地域医療と民間団体の連携
児童・思春期精神保健対策医療従事者専門研修 国立国際医療研究センター国府台病院	R7.1.22	千葉県 市川市	原田　　謙	ケース検討のスーパーバイズ

（3）講義

機関名	実施日	場所	講師	科目、内容
長野県看護大学	R6.5.7	駒ヶ根市	髙橋たか子	精神看護方法 アルコール依存症の症状とその看護
	R6.9.13	駒ヶ根市	黒川めぐみ	病院オリエンテーション－精神看護実習に臨むにあたって
	R6.11.13	駒ヶ根市	大蔵　真理	精神看護概論Ⅱ 長期入院患者の地域移行支援「地域生活を支えるための支援」
	R6.12.19	駒ヶ根市	大蔵　真理	精神看護学実習に向けての計画立案、看護の展開、CNS の役割について
長野県須坂看護専門学校	R6.5.13	須坂市	大蔵　真理	精神援助論Ⅱ
	R6.5.20	須坂市	大蔵　真理	
	R6.5.22	須坂市	宮脇真一郎	
	R6.5.27	須坂市	大蔵　真理	
	R6.6.26	須坂市	丸田　照美	
	R6.6.27	須坂市	丸田　照美	
	R6.7.16	須坂市	丸田　照美	
	R6.7.17	須坂市	丸田　照美	

機関名	実施日	場所	講師	科目、内容
上伊那医師会附属 准看護学院	R6.4.4	伊那市	小林　大地	精神看護の特質
	R6.4.11	伊那市		
	R6.4.18	伊那市		
	R6.4.25	伊那市		
	R6.5.2	伊那市		精神看護の実際
	R6.5.9	伊那市		
	R6.5.16	伊那市		
	R6.5.23	伊那市	小松　　諒	
	R6.5.30	伊那市		
	R6.6.6	伊那市		
	R6.6.13	伊那市		
	R6.6.20	伊那市		
	R6.6.27	伊那市		
	R6.7.4	伊那市	小林　大地 小松　　諒	精神看護実習の実際
信州木曽看護専門学校	R6.5.31	木曽町	原田　　謙	精神機能・精神症状・脳の機能、精神症候学・MSE、治療・検査と看護①
	R6.6.28	木曽町	原田　　謙	精神症圏の障害とストレス関連性
	R6.7.5	木曽町	黒川めぐみ	治療・検査と看護②薬物療法、治療・検査と看護③ m-ECT・rTMS
	R6.7.8	木曽町	埴原　秋児	器質性精神障害
	R6.9.5	木曽町	大倉　直紀	災害看護・国際看護
	R6.9.20	木曽町	原田　　謙	感情障害と看護①、統合失調症と看護①
	R6.9.30	木曽町	三浦　典子	老年看護援助論Ⅰ
	R6.10.11	木曽町	原田　　謙	児童・青年期の障がいと看護①②
	R6.10.15	木曽町	酒井　史江	看護のための人間発達論
	R6.10.15	木曽町	毛利　　聡	キャリア開発講座
	R6.10.17	木曽町	富田　雅俊	地域における精神看護
	R6.10.21	木曽町	大蔵　真理	精神看護のさまざまな場
	R6.10.21	木曽町	丸田　照美	児童・青年期の障がいと看護③④
	R6.10.22	木曽町	酒井　史江	看護のための人間発達論
	R6.11.1	木曽町	犬塚　　伸	依存症と看護①
	R6.11.5	木曽町	宮脇真一郎	依存症と看護②

機関名	実施日	場所	講師	科目、内容
信州木曽看護専門学校	R6.11.11	木曽町	酒井　史江	看護のための人間発達論
	R6.12.3	木曽町	酒井　史江	
	R6.12.9	木曽町	酒井　史江	
	R6.12.18	木曽町	酒井　史江	
	R7.1.6	木曽町	酒井　史江	
岡谷市看護専門学校	R6.12.11	岡谷市	宮脇真一郎	精神援助論Ⅰ（依存症）
長野県看護協会	R6.8.28	松本市	髙橋たか子	指導者精神看護学実習養成講習会
本部研修センター	R6.8.22	当院	伊藤　一郎	シミュレーション教育指導スキルアップシリーズ①
	R6.9.26	当院	伊藤　一郎	シミュレーション教育指導スキルアップシリーズ②
	R6.11.14	当院	伊藤　一郎	シミュレーション教育指導スキルアップシリーズ③
	R6.11.28	当院	白鳥　香代 眞壁　陽子	リハビリテーション技術科職員新人育成プログラム他病院体験研修
佐久大学	R7.1.30	Web	黒川めぐみ	プライマリケア看護学演習Ⅳ 社会資源の活用方法と在宅生活再構成への支援
長野県 DPAT 研修会	R6.8.9	Web	臼井　裕子	災害医療概論
	R6.8.19	Web	臼井　裕子	DPAT 派遣時の CSCA
	R6.9.8	当院	臼井　裕子	災害時のロジスティクス、地域支援時の記録（J-SPEED、EMIS 含む）

（4）研究論文等

著者名	題　名	著書・雑誌名・集録名・発行年・出版社名
埴原　秋児	ここ駒よりこんにちは	『全国自治体病院協議会雑誌』 第 63 巻 2024 年第 5 号通巻第 671 号 85 - 88 2024 年 5 月 1 日発行 公益社団法人 全国自治体病院協議会
原田　　謙	秩序破壊的・衝動制御・素行症群の評価尺度	『精神医学』第 66 巻第 5 号 622-628 2024 年 5 月 15 日発行 医学書院
原田　　謙	反抗挑発症への心理社会的治療・支援	『精神療法』増刊第 11 号　2024 168-174 2024 年 6 月 5 日発行 金剛出版

著者名	題　名	著書・雑誌名・集録名・発行年・出版社名
田中　康平 原田　　謙	児童思春期の ADHD の診断と支援	『CURRENT THERAPY』 Vol.42 No.7 25-30 2024 年 7 月 1 日発行 株式会社ライフメディコム
原田　　謙	精神科病棟における発達障害を持つ人の攻撃性へのケア ーキレるはこころの SOS	『日本こころの安全とケア学会誌』 第 6 巻　第 1 号 37-45 2024 年 11 月 1 日発行 一般社団法人　日本こころの安全とケア学会
原田　　謙	反抗等の問題行動を呈する神経発達症の子どもを持つ親への支援	『精神科治療学』　第 39 巻　第 12 号 1349-1355 2024 年 12 月 19 日発行 星和書店
原田　　謙	キレる子どもの気持ちと接し方がわかる本	2025 年 2 月 25 日　第 1 刷発行 講談社
原田　　謙	発達障害の二次障害 二次障害を知っていますか？	『発達教育』　2024 年 10 月号 第 43 巻第 10 号通巻 528 号 20-21 2024 年 9 月 25 日発行 公益社団法人　発達協会
原田　　謙	発達障害の二次障害 行動の障害	『発達教育』　2024 年 11 月号 第 43 巻第 11 号通巻 529 号 20-21 2024 年 10 月 25 日発行 公益社団法人　発達協会
原田　　謙	発達障害の二次障害 行動の障害に対する支援①	『発達教育』　2024 年 12 月号 第 43 巻第 12 号通巻 530 号 20-21 2024 年 11 月 25 日発行 公益社団法人　発達協会
原田　　謙	発達障害の二次障害 行動の障害に対する支援②	『発達教育』　2025 年 1 月号 第 44 巻第 1 号通巻 531 号 20-21 2024 年 12 月 25 日発行 公益社団法人　発達協会
原田　　謙	発達障害の二次障害 情緒の障害	『発達教育』　2025 年 2 月号 第 44 巻第 2 号通巻 532 号 20-21 2025 年 1 月 25 日発行 公益社団法人　発達協会

著者名	題　名	著書・雑誌名・集録名・発行年・出版社名
原田　　謙	発達障害の二次障害 情緒の障害の支援	『発達教育』　2025 年 3 号 第 44 巻第 3 号通巻 533 号 20-21 2025 年 2 月 25 日発行 公益社団法人　発達協会
足立　順代	子どもを依存症から守る、依存症と共に生きる	『2024 長野の子ども白書　子どもの権利条約の実効ある実現を目指して』 136-137 2024 年 7 月 5 日発行 長野の子ども白書編集委員会 / 編
足立　順代	特別寄稿　医療と教育の連携 「インターネット・ゲーム障害とは」	『養護教諭部会報』第 165 号（4） 令和 6 年 7 月 26 日発行
足立　順代	特別寄稿（第 2 回）医療と教育の連携 「インターネット・ゲーム障害への学校での上手な対応について」	『養護教諭部会報』第 166 号（6） 令和 7 年 1 月 28 日発行
足立　順代 （文責：長野県学校保健会　養護教諭部会　保健のあゆみ編集委員会）	令和 6 年度長野県養護教諭研究会 講演「インターネット・ゲーム障害について」	『会誌　保健のあゆみ』第 73 集 56-62 令和 7 年 2 月発行 長野県学校保健養護教諭部会
五味　和彦 　　他	外来統合失調症の新しい剤型に対する意向と服薬意識	『日本精神薬学会誌』 Vol.8　No.1 31-40　（2024） 日本精神薬学会

研修医受入れ状況

病　院　名	受入れ期間	受入れ人数
伊那中央病院	R6.4.1 ～ R6.4.26	1
	R6.5.7 ～ R6.5.31	2
	R6.6.3 ～ R6.6.28	1
	R6.8.5 ～ R6.8.30	1
	R7.1.6 ～ R7.1.31	1
信州医療センター	R6.6.3 ～ R6.6.28	1
	R6.7.1 ～ R6.7.26	1
	R6.10.7 ～ R6.11.1	1
	R6.11.5 ～ R6.11.29	1

病　院　名	受入れ期間	受入れ人数
飯田市立病院	R6.8.5 ～ R6.8.30	1
	R7.2.3 ～ R7.2.28	1
	R7.3.3 ～ R7.3.28	1

実習生受入れ状況（＊インターン等を含む）

（1）臨床実習

大　学　名　等	区 分・学 年	受入れ期間	受入れ人数
信州大学 医学部医学科	5 年	R6.11.5 ～ R6.11.28	1
		R6.12.2 ～ R6.12.25	1

（2）精神科看護実習

大　学　名　等	区 分・学 年	受入れ期間	受入れ人数
長野県看護大学 看護学部	看護専門領域実習 3 年	R6.9.25 ～ R6.10.4	11
		R6.11.19 ～ R6.11.29	11
	看護専門領域実習 4 年	R6.5.21 ～ R6.5.22	3
		R6.6.18 ～ R6.6.19	3
		R6.7.16 ～ R6.7.17	3
	看護専門領域実習 3 年	R6.10.8 ～ R6.10.9	3
		R6.11.5 ～ R6.11.6	3
		R6.12.3 ～ R6.12.4	3
信州木曽看護専門学校	領域実習 3 年	R6.5.9 ～ R6.5.22	4
		R6.6.20 ～ R6.7.3	8
		R6.11.1 ～ R6.11.18	8
	精神看護援助論Ⅲ 病院見学 2 年	R6.12.16	21
長野県須坂看護 専門学校	臨床看護実習 3 年	R6.6.3 ～ R6.6.13	12
		R6.9.2 ～ R6.9.12	16
		R6.10.21 ～ R6.10.31	15
上伊那医師会附属 准看護学院	臨床看護実習 2 年	R6.7.8 ～ R6.7.18	9
		R6.7.29 ～ R6.8.7	10

大　学　名　等	区 分・学 年	受入れ期間	受入れ人数
日本精神科看護協会	精神科認定看護師教育課程実習	R6.9.23 ～ R6.10.18	1
		R6.10.28 ～ R6.11.15	1
		R6.11.25 ～ R6.12.13	1
日本赤十字社	赤十字看護管理者研修Ⅱ・日本看護協会認定看護管理者教育課程セカンドレベルにおける統合演習Ⅱ実習	R6.9.10	1

（3）作業療法実習

大　学　名　等	区 分・学 年	受入れ期間	受入れ人数
信州大学医学部保健学科	4 年	R6.4.8 ～ R6.6.7	1
	1 年	R6.8.8	20
長野保健医療大学保健科学部	4 年	R6.6.17 ～ R6.8.9	1
	4 年	R6.9.23 ～ R6.11.15	1

（4）精神保健福祉士実習

大　学　名　等	区 分・学 年	受入れ期間	受入れ人数
佐久大学人間福祉学部	4 年	R6.8.13 ～ R6.8.29	1
長野大学社会福祉学部	4 年	R6.9.2 ～ R6.9.18	1

（5）薬学生精神科実習

大　学　名　等	区 分・学 年	受入れ期間	受入れ人数
日本大学薬学部	インターンシップ 5 年	R6.9.9	1

（6）管理栄養士実習

大　学　名　等	区 分・学 年	受入れ期間	受入れ人数
松本大学人間健康学部	3 年	R7.3.3 ～ R7.3.14	1

意見箱へのご意見

病棟を含め、院内6か所に意見箱を設置し、積極的かつ継続的に意見等の収集に努めている。令和6年度は合計57件の意見、要望が寄せられた。令和6年度から収集方法を変更したことにより、寄せられた意見、要望は昨年度と比較し93件減少した。

寄せられた意見のうち、実行可能なものは速やかに改善し、部門横断的な改善活動、情報共有を行い、医療の質の向上に取り組んでいる。

（単位：件）

ご意見の内容	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
福祉サービスの利用等に関すること	0	0	0	0	0
障がいや病状に関すること	0	1	0	0	0
医療に関すること	0	3	0	9	7
不安の解消・情緒安定に関すること	0	1	0	1	2
家族関係・人間関係に関すること	0	0	0	0	1
就労に関すること	0	0	0	0	0
家計・経済に関すること	0	0	0	0	4
社会参加・余暇活動に関すること	0	0	0	0	0
権利擁護に関すること	0	0	0	1	0
薬に関すること	3	0	2	2	1
栄養に関すること	12	6	5	9	2
作業療法に関すること	3	3	2	2	0
デイケアに関すること	3	2	2	7	1
訪問看護に関すること	0	0	0	0	0
接遇に関すること	17	15	2	5	3
虐待・家庭内暴力に関すること	0	0	0	0	0
環境整備に関すること	25	18	30	24	11
治療環境に関すること	33	19	12	18	16
その他＊	29	18	74	72	9
計	125	86	129	150	57

＊その他の意見については、病状によるものが大半を占めている。

病院運営各種委員会等

令和７年３月31日現在

会議名称	所掌事項
病院運営協議会＊	病院の運営等に関し、外部委員からの提言に関すること
病院運営会議	病院の運営等に関すること
倫理委員会＊	倫理審査に関すること
医療観察法病棟　外部評価会議＊	医療観察法ユニットの運営状況や治療内容の外部評価
医療観察法病棟　倫理会議＊	医療観察法ユニットにおける倫理に関すること
医療観察法病棟　地域連絡会議＊	医療観察法ユニットにおける地域連携の確保に関すること
医療観察法病棟　運営会議	医療観察法ユニットの運営状況に関すること
医療観察法病棟　治療評価会議	医療観察法ユニットにおける治療効果の評価に関すること

＊外部委員あり

委員会名称	所掌事項
安全衛生委員会	目　　的：　職場の安全衛生に関すること 活動実績：（毎月開催） ・働きやすい職場づくりの推進 ・超過勤務縮減の取組 ・職員相談体制の充実による心身の健康増進 ・５Ｓ活動の促進及び定着、公務災害の防止 ・交通安全の推進
医療安全管理委員会	目　　的：　医療安全に関すること 活動実績：（毎月開催） ・定期的な委員会開催による院内医療安全管理体制の確保 ・医療事故等の検証による再発防止の徹底 ・医療安全職員研修の実施による安全意識の啓発
医療ガス 安全管理委員会	目　　的：　医療ガスの管理・運用に関すること 活動実績：（年１回開催） ・医療ガス設備日常点検による安全の確保 ・安全の確保の為、外部委託による医療ガス定期点検を実施 ・医療ガス職員研修の実施による安全意識の啓発
院内感染対策委員会	目　　的：　感染対策に関すること 活動実績：（毎月開催） ・感染対策研修会の出席率向上 ・感染対策に関する理解度の促進 ・院内ラウンドの実施 ・感染対策情報の迅速な提供 ・院内感染予防対策マニュアルの改訂
栄養委員会	目　　的：　入院患者の栄養管理に関すること 活動実績：（年３回開催） ・患者の食事満足度の向上策について検討

委員会名称	所掌事項
栄養サポート委員会	目　　的：栄養リスクのある患者の早期抽出及びモニタリングの実践に関すること 活動実績：（毎月開催） ・NST ラウンドの振り返りを行い、アセスメントスキルの向上 ・リフィーディング症候群対応アルゴリズムの見直し ・栄養サポートチーム算定に関する書類の整備 ・NST 症例検討依頼書・NST 検討経過表作成手順書の作成 ・NST ラウンドの実施（新規 53 人、延べ 548 人、算定 3 件） ・NST 介入症例の紹介等による栄養サポート体制の強化 ・NST 介入につなげる方法の検討
患者家族相談窓口月例会議	目　　的：苦情、相談等に関すること 活動実績：（毎月開催） ・相談等の内容及び担当部署の対応状況の確認 ・苦情、意見等の分析及び改善活動の効果検証 ・困難事例に対する対応協議
教育研修委員会	目　　的：職員研修及び公開講座・出前講座に関すること 活動実績：（年 4 回開催） ・教育研修に係る PDCA サイクルの確実な運用 ・研究研修費の効果的な予算執行、管理 ・職員が活躍できる機会の積極的な提供（院内研究発表会などの開催） ・精神科研修・研究センターとの連携
クリニカルパス委員会	目　　的：クリニカルパスの作成・管理・運用に関すること 活動実績：（隔月開催） ・患者パスの利用促進 ・クリニカルパス利用促進のための啓発、広報活動及び調査検討、企画立案 ・リフィーディング症候群治療パスの作成、運用開始
クロザリル治療委員会	目　　的：クロザリルを用いた適正な治療の推進に関すること 活動実績：（随時開催） クロザリルの治療申請について、8 件の検討を実施
行動制限最小化委員会	目　　的：入院患者の隔離・拘束に関すること 活動実績：（毎月開催） ・院内における行動制限状況の適切性、最小化のための検討会議を定期開催 ・全職員を対象とした精神保健福祉法、隔離・拘束の早期解除や、危機予防のための介入技術に関する研修会を実施
サービス向上委員会	目　　的：職員の接遇に関すること 活動実績：（年 3 回開催） ・全職員を対象とした接遇標語や研修による啓発活動 ・院内掲示物ラウンドの実施
事後審査委員会	目　　的：特定医師による特例措置の妥当性検証に関すること 活動実績：（随時開催） 委員会開催
児童運営委員会	目　　的：児童精神科治療に係る運営方針に関すること 活動実績：（毎月開催） ・外来、病棟における運営方針の検討、見直し ・子どものこころ総合医療センター開設に向けた看護体制づくりの検討、実施

委員会名称	所掌事項
児童虐待対策委員会	目　　的：　児童虐待への対応に関すること 活動実績：　・関係機関との迅速で適切な連携 （毎月開催）　・児童虐待ケース進行管理による継続的な支援を行う体制づくり ・子ども虐待に対する院内研修の実施
医療情報システム管理委員会	目　　的：　システム管理に関すること 活動実績：　・電子カルテ、オーダリングシステムの円滑な運用 （随時開催）　・院内の適正な情報化推進
褥瘡対策委員会	目　　的：　入院患者の褥瘡予防と対応に関すること 活動実績：　・褥瘡の予防、適切な治療の実施 （毎月開催）　・院内の褥瘡対策の体制整備 ・褥瘡予防研修会の実施
診療情報管理委員会	目　　的：　カルテ記載・管理に関すること 活動実績：　・診療録の量的、質的監査の実施 （年２回開催）　・災害時カルテの検討
診療情報提供委員会	目　　的：　診療情報の開示に関すること 活動実績：　診療情報開示請求件数 10 件 （随時開催）
治験受託検討委員会	目　　的：　治験受託の決定と適正な執行に関すること 活動実績：　新規治験等の申し込みに対して円滑な受託可否を検討 （随時開催）
防災対策委員会	目　　的：　防災に関すること 活動実績：　・前回訓練の反省を生かした訓練の実施 （年１回開催）　・訓練結果を踏まえた防災研修会の実施
薬事委員会	目　　的：　医薬品の採用・廃止に関すること 活動実績：　・適切な後発品採用の実施 （年２回開催）　・向精神薬等の適正な使用の推進
QM 委員会	目　　的：　医療の質の向上に関すること 活動実績：　・病院機能評価受審に係る準備 （随時開催）　・内部監査員による院内ラウンドの実施
DPAT 運営委員会	目　　的：　DPAT 派遣に関すること 活動実績：　・県主催の研修会、防災訓練への参加 （毎月開催）　・国主催の訓練への参加
精神障害者虐待防止委員会	目　　的：　当院の業務従事者（委託職員を含む）による精神障害者への虐待を防止し、質の高い専門医療を提供すること 活動実績：　・マニュアルの確認 （年２回開催）　・研修の実施